



殉国の塔（鍋峠付近）

呉湾を見おろす小高い丘、畑の小道を通りぬけ、ひっそりとたっている碑。

これは、勤労働員で各地（鳥取や島根、四国など）からも来て亡くなった女子挺身隊を慰霊する殉国の塔です。

1945年6月22日、呉海軍工廠造兵部が空襲を受けた時、犠牲になった多くの乙女の死を慰霊する為、地元の人が戦後建てたお墓だつて。

戦争って、大人も子どもも命をうばう悲しいできごとだね。



きゅうかいぐんこうしょう たてもの
旧呉海軍工廠のれんが建物



呉海軍工廠の工場の残物

ふね お 部品 や たいほう など作っていた、呉海軍工廠の工場は、今は、みんなの生活に役立つ物を造る工場になっている。静かな漁村が、あっという間に呉海軍都市に発展し、できたれんが建物は呉空襲もうけ、丸焼けになった残物として、みんなに戦争の恐ろしさ、苦しさ、悲しさを思いださせるね。



ぎょらい くれーん
魚雷をあげおろしたクレーン